

大学名 山口大学

第63号 特集テーマ「学生支援」  
特集タイトル「みんなで支えるキャンパスライフ」

表題 学生の「やってみたい気持ち」を育み、大学と地域をつなぐ「学生自主活動ルーム」

#### 【学生自主活動ルームについて】

学生の自主的な活動の育成・支援を行う機関として2006年に開設された。学生と外部団体、地域等をつなぐ窓口として、ボランティアや地域活動等とのコーディネート、学生の発案に基づく活動に大学が資金支援する山口大学独自事業「おもしろプロジェクト」、ベンチャー起業相談などを行っており、学生支援センターの教職員とコーディネーター1名で構成されている。

#### 【コーディネーターの役割】

活動に興味はあるが、なかなか一歩を踏み出せない学生を「活動者（課外活動参加者）」に育てるため、学生のニーズを的確に捉え、地域等からの要望とのマッチングを行い、学生が適切に活動できるように導く。また、学生自らが企画した活動について、その活動域を学内外へ広げる手助けをする。さらに、学生が相談しやすい雰囲気作りを行い、成長や変化を続けている学生の興味関心を引くような活動を紹介する。

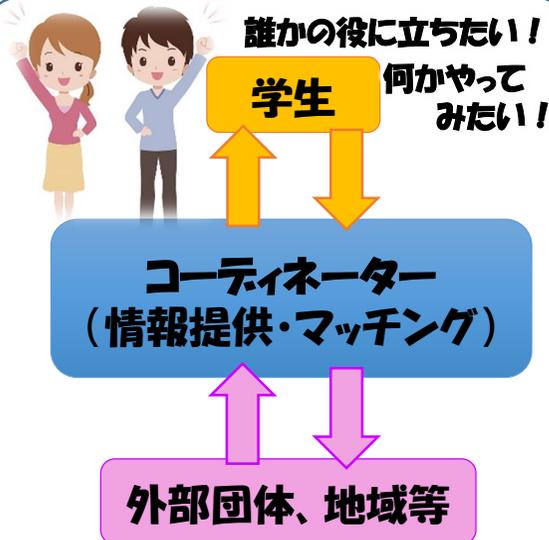
#### 【期待できる成果】

何かやってみたいと思いつつも思い切らず活動に参加できない学生には、学内ボランティアから徐々に行動範囲を広げられるようサポートし、他者との関わりの中で、社会適応力や自信、自己肯定感を身に付けさせる。また、地域活動への参加は大学の地域貢献にもつながる。



山口県内マラソン大会  
通訳・医療ボランティア

長門海岸清掃ボランティア



#### 【活動事例】

- ◆長門海岸清掃ボランティア  
海の日海岸開きに合わせて、山口県長門市の海岸清掃活動及び漂着物調査を行う。毎年20名以上の学生が参加しており、地域の環境について考えるきっかけとなっている。
- ◆山口県内マラソン大会通訳・医療ボランティア  
吉田キャンパスで開催された救命措置の研修を修了した学生が参加。実際に人命救助に貢献した案件も報告された。レベルの高い通訳ボランティアは高い評価を得た。
- ◆おもしろプロジェクト  
学生の自主的・創造的企画に資金支援する山口大学オリジナルの学生支援事業～学生が企画・主催したもの～
- ◆短期留学生「おもてなし企画」 ◆消しゴムはんこワークショップ

学生自主活動ルームのHPは右のQRコードをご利用ください。

